

くらしの
相談など、
いつでも
お気軽に

日本共産党 武蔵野市議団ニュース

2009年12月13日

No.122

《連絡先》

梶 雅子 47-9391

橋本しげき 36-3110

発行 日本共産党武蔵野市議団 Tel 60-1888 fax 51-9485

12月議会

代表質問

【橋本しげき議員】

私は、地方自治体の役割、国との関係、市民参加、平和の取り組み、高齢者の医療、介護問題、子育て・教育、水道事業、地球温暖化、外環道路、行財政改革、について質問しました。

市長の主な答弁は、(1)市民参加のあり方を市民自治条例といった制度で明確化すべき、(2)11月24日を武蔵野平和の日にするべく来年度制定を目指したい、(3)特養老人ホームの増設は、次期介護事業計画の中で議論し検討していきたい、(4)規制緩和による保育所面積の最低基準の引き下げについて、保育の質を維持していくための基準は維持していくべき、(5)待機児対策として認可保育園増設の今後の検討もしていきたい、(6)外環本線については慎重に丁寧に対応してほしいというスタンスに変わりはない、とのことでした。

一般質問

【梶 雅子議員】

今回は、保育行政について国の動向、公立保育園の民間委託化問題、待機児童対策について20項目を質問しました。主なものは(1)「第3次子どもプラン武蔵野中間報告」が、公立保育園の民間委託化を打ち出している。市民参加の「長期計画」でも「検討課題」としているものを転換することは、問題がある。(2)民間委託化によって財源を生みだし他の子ども関係に充てるといってどれくらい確保できるのか(3)待機児童解消策として境子ども園の設置は見直すべき。(4)待機児童対策は、認可保育園の施設拡充や増設で。

市長の答弁は

(1)市民は中味を見て不安を感じているのか、検討するのが課題である。(2)一園2000万円を見込んでいる。人件費の大幅な削減はない。(3)待機児解消のため、地域に開かれたより良いものを準備したい。(4)多様な様式を考えていく。と、乳幼児期は極めて重要な時期なので最善な方法をといいながら、具体的な答弁は得られませんでした。

1月の無料法律相談

1月12日(火)午後1時30分より

* 日本共産党市議会議員控室

* 各議員まで予約を

* 武蔵野法律事務所の弁護士が相談にのります。

【毎月第2火曜日が法律相談日です】